

市長公室・安心まち室・総務・消防等

職員課長 民間企業へ職員を派遣し、自ら体験する研修と、通信教育や資格取得など自己啓発の研修について助成制度を新設する。

副市長 市長の景気認識はどうか。市民の所得が減ってきていると考えているか。

市長 景気がよくなってきたと感じていない。所得も全般的に減ってきている。市民との対話を重視しながら、その実態の把握に努めたい。

副市長 本市は南海・東南海地震の防災推進地域に指定されているのか。安心まちづくり室担当

経済環境・水道等

課長 2月26日に追加指定された。これにより地域防災計画の変更を20年度に行う。

副市長 防犯灯、カーブミラーの設置基準はどうか。安心まちづくり室担当

課長 1年間で各区・自治会で1カ所が原則であるが、危険度合いや緊急性に応じて調整している。

副市長 職員の電話応対がなっていない。まず、自ら所属と氏名を名乗るのではなかったのか。これくらい1週間で徹底せよ。

副市長 1週間で行ったが、コミュニケーションの運用はどうか。

副市長 調査によりデータが集まったので、20年度に具体的な計画、検討に入る。

副市長 税の使いみちについて、慎重に考えるべきであると思うがどうか。

副市長 選択と集中に心がけて、事業効果の出る形で健全財政をめざす。市南部分地域へのAED配置はどうか。

副市長 安心まちづくり室担当の課長、消防や教育委員会などの関係機関とも十分協議し検討する。

副市長 大住工業専用地域拡大事業における職員配置の方向性について具体的な考えは。

副市長 経済環境部長 一定の技術的な経験を持つている職員の配置をお願いしている。

副市長 産業系の情報サイトの取組状況はどうか。

副市長 産業政策課長 企業間取引の拡大、市内産業の活性化を目的に取り組んでいる。年度末には公開したい。

副市長 府営水に係る実質空水割合が増えている。受水申請量はどうか決めているのか。

副市長 水道部長 年間最大水量の日を見込み計画している。その中で短期的な微調整を行っている。

副市長 産業振興ビジョンの策定とは。

副市長 産業政策課長 各分野から重点的な施策を選択し、具体化のための全体的なビジョンをまとめていく。

副市長 下水道未整備地区の整備に関する計画、予算は。

副市長 下水道課長 公共下水道整備の最終年度が平成27年度で、工事費だけで約25～30億円かかる予定。

副市長 地球温暖化計画の達成状況と今後の計画は。

副市長 環境課長 18年度現在で前半5%の目標に対して、6・2%削減できている。24年度までにトータル10%削減を目標に取組みたい。

副市長 景観問題のある一休寺だが、京田辺市における観光面での位置づけは、産業政策課長 年間約3万8000人が訪れ、本市にとつて貴重な観光資源である。観光面からは現在の景観が保存されることが望ましい。

副市長 ふん書などベクトル問題に関して条例制定の考えは。

副市長 環境課長 情報収集に努め本市に合うものを取り入れるべく検討したい。

副市長 通学路安全点検踏査についての方針はどうか。

副市長 一休寺裏山開発についてはスピードに対応する必要がある。買い取りや市有地との交換などいろいろな方法が考えられるのではないかと。計画課長 現在行っている調査をベースにして、地権者、地域の方、一休寺とも協議して検討してまいりたい。

副市長 計画課長 現在行っている調査をベースにして、地権者、地域の方、一休寺とも協議して検討してまいりたい。

副市長 道路占用料の徴収漏れはないか。

副市長 施設管理課長 郵政民営化に伴う郵便ポストも含めて、徴収漏れはない。

副市長 田辺中央4丁目の葬儀場建設について、地元交通問題に対する心配の声が多い。業者に対する指導はどうか。

副市長 計画課長 十分承知しているところであるが、具体的な協議の段階になれば、事業者を確認していく。

建設

副市長 池ノ端丸山線の事業化に向けた取り組みはどうか。

副市長 建設部長 山手幹線完成後の車の流れを十分見極める必要がある。同線の必要性は認識している。引き続き事業主体である京都府に要望していく。

副市長 手原川歩道橋設置の進捗状況はどうか。

副市長 建設部総括室担当課長 19年度で河川管理者との協議を終え、20年度は現況測量を行うが、財政面もあり、事業完成時期は確認できない。

副市長 開発に伴う、例えば

市民・保健福祉

副市長 駐車場思いやりマーク設置の概要は。

副市長 保健福祉部次長 設置は、市役所駐車場のほか、社会福祉センター等全部で13カ所を予定している。

副市長 妊婦健診における超音波検査と歯科検診の助成についてはどうか。

副市長 こども福祉課長 超音波検査については、35歳以上の方に1回行っており、歯科検診については21年度に行う予定である。

副市長 療養病床の減少への市の対応は。

副市長 健康介護課長 今後、特養や老健施設の施設はなくなり、居宅・在宅サ

予算特別委員会の審査

副市長 産業界の活用状況はどうか。

副市長 池ノ端丸山線の事業化に向けた取り組みはどうか。

副市長 建設部長 山手幹線完成後の車の流れを十分見極める必要がある。同線の必要性は認識している。引き続き事業主体である京都府に要望していく。

副市長 手原川歩道橋設置の進捗状況はどうか。

副市長 建設部総括室担当課長 19年度で河川管理者との協議を終え、20年度は現況測量を行うが、財政面もあり、事業完成時期は確認できない。

副市長 開発に伴う、例えば



手原川沿いの道路風景



整備が進む防賀川公園

教育

副市長 一休寺裏山開発についてはスピードに対応する必要がある。買い取りや市有地との交換などいろいろな方法が考えられるのではないかと。計画課長 現在行っている調査をベースにして、地権者、地域の方、一休寺とも協議して検討してまいりたい。

副市長 計画課長 現在行っている調査をベースにして、地権者、地域の方、一休寺とも協議して検討してまいりたい。

副市長 道路占用料の徴収漏れはないか。

副市長 施設管理課長 郵政民営化に伴う郵便ポストも含めて、徴収漏れはない。

副市長 田辺中央4丁目の葬儀場建設について、地元交通問題に対する心配の声が多い。業者に対する指導はどうか。

副市長 計画課長 十分承知しているところであるが、具体的な協議の段階になれば、事業者を確認していく。

副市長 学校教育課長 図書司書と司書教諭及び図書ボランティアとの役割分担をどうしていくのかなど、議論を進めていくものと考えている。

副市長 小学校英語教育でA・E・Tの活用はどうか。

副市長 学校教育での環境教育の考え方はどうか。

副市長 学校教育課長 図書司書と司書教諭及び図書ボランティアとの役割分担をどうしていくのかなど、議論を進めていくものと考えている。

副市長 小学校英語教育でA・E・Tの活用はどうか。

副市長 学校教育での環境教育の考え方はどうか。

副市長 学校教育課長 図書司書と司書教諭及び図書ボランティアとの役割分担をどうしていくのかなど、議論を進めていくものと考えている。

副市長 小学校英語教育でA・E・Tの活用はどうか。

副市長 学校教育での環境教育の考え方はどうか。

総括審査(各会派の意見)

緑政会

安定した行財政運営に保も緊急課題。新年度は、組織・人づくりの年。市取組みが必要。また、定数に不足する正職員の確保も緊急課題。新年度は、組織・人づくりの年。市長の手腕に期待。危機管理意識の低さから、大定源の確保には企業誘致や行財政改革が必要。市長の手腕に期待。危機管理意識の低さから、大定源の確保には企業誘

一新会

定源の確保には企業誘致や行財政改革が必要。市長の手腕に期待。危機管理意識の低さから、大定源の確保には企業誘

共産党

自・公内閣の悪政で市民の所得は減り続け、医療制度の改悪で、市民の負担は増すばかり。4月実施の後期高齢者医療制度は中止・撤回すべき。国保税も大幅アップになり、市民のくらしは大変だ。市民のくらし応援の予算を求め。

公明党

財政健全化計画の目標達成に向け、積極的な財源確保と事務事業の見直しを。中でも収納率向上のため、コンビニ納税の導入等具体的な施策を。また、障害者福祉、学校教育の推進、安心安全の道路整備等に市長の強いリーダーシップを期待

民主党

木造住宅耐震改修事業助成については、市内全域が対象となるよう積極的な取組みを。高齢者は増加するが特養等の施設は増えない。安心して老後を送れるよう訪問看護介護等の体制の充実を。国保税の改定については、激変緩和措置をすべき。